ホームリビング

（日本専門新
（第三種

織物工業協同組合理事長
▽瑞光単光章＝小林昇（福島県）、漆器（会津塗）製造業従事者／須藤燁（栃木県）、織物（結城紬）製造業従事者／高松義雄（京都府）、織物（西陣織）製造業従事者／番堅介（新潟県）、家具（加茂桐）製造業従事者／廣川昌良

日進木工 東京ショールーム
1周年記念催事 開催

日進木工（本社／岐阜県高山市）は、東京ショールーム（東京都品川区東五反田5−25−19 東京デザインセンター1階）のオープン1周年を記念し、4月2日から30日まで、記念催事を行った。テーマは「しっかりしたものつくりーあきない理由」。来場者に同社のものづくりを重視する姿勢を示した。また、文化財保存修理技術の継承についてもアピールした。

「1周年を迎えて、ハウスメーカーやインテリアコーディネーター、建築士などに、当社の製品は浸透している」と営業部の北村卓也課長は語る。日進木工の企業ブランドを認識してもらえる「発信基地」として、重要な

ION（造る）」と「RE
理の技術を示した。
で示した。

経営の岨道

》881《

ミラノ視察の日本難民
尾上さん一行
本紙社長 長島貴好

尾上一雄さん（大家商理事長、オノエ家具相談役）より、4月13日にミラノへ発つ関西空港から電話を貰った。のち滞在中に発生したアイスランドの噴火、欧州主要空港の閉鎖影響を、尾上さんはどうしたか心配していた。落ち着いて電話が出来たのが、5月連休明けの7日、結局、迷走の果て、4日間の延長帰国となった由。アムステルダムへ飛び、朝3時に起きて4時に空港へ行き、航空会社と交渉したとか。幸い大阪の女性で英語、イタリア語の出来る人がいて、様々なサポートを得られたのが幸いだった。

大阪の一行7人は2組に分かれ、尾上さんは4人の先行組となり、4月22日に帰る。残り3人組は26日の帰国となった。自炊、洗濯、果ては当て無き帰国便待ち。総日程10日間から半月に及ぶ長旅で、肝心のミラノサローネは3日間の視察に終わる。降って沸いた噴火事故をホテルのテレビ、日本からのメールで知り、空港閉鎖の難民となる。

航空券9万円、ミラノのデジデンスホテル代金5万円、計14万円の安上がり旅だが、4日間のホテル延長費用、とにかく帰国をという工夫、フライト交渉、こうした心痛にはほとほと疲れたようだ。サローネは大変な来場者だったという。筆者もよく分かる。初日の地下鉄から湧き出る人の群れは恐ろしいほどだ。尾上さんによると日本人は少なく（筆者推定約250人）、アジア系は中国人が会場、市内のサテライト、至る所群れていたと語った。

尾上さんはシステムキッチン、バスユニットなどのホールに圧倒されたという。住宅構造が高層の石造り、ビルディング、そうした中で内装、リビングを改装、居住形態を住人が作り変える、そうした業者が来場するのか、と尾上さんは会場の賑わい、また需要構造に触れた。それもあるが、ドイツ、イタリア、フランスの住スタイルと日本のニーズ差を、筆者は「まずダイニングルーム、システムキッチンから始まる。それは主婦の城であり、ファミリーのライフスタイルの核ともなり、日欧の家具店の売上構成比の違いとなってきている。欧州の家具店は少なくて30～40％、多いところで60％はキッチンだ」と話した。同じミラノの難民となった加藤知成さん（カリモク家具・相談役）は「要するに欧州の家庭は子供時代から自立、自助の精神、アイデンティティの確立を図る場として、ライフスタイルを構築している」と解説した。加藤哲学はいまの日本に重要だと原稿を依頼した。

「カナダ稀少羽毛」レセプション開く
カナダ羽毛協会日本支部設立

「カナダ稀少羽毛」レセプションが4月19日カナダ大使館（東京都港区）で開催された。4月1日に設立されたカナダ羽毛協会日本支部（東京都渋谷区恵比寿1−7−4−202）の設立に併せての開催となった。

カナダ羽毛協会は1975年にカナダで設立され、カナダの羽毛及び羽毛製品の教育啓蒙と羽毛産業の発展を目的としている。

同レセプションではカナダ羽毛協会会長のマイケル・デ・ラ・プレイス氏が挨拶し、次いで日本支部長の稲木貢氏が挨拶をした。

同協会会員の羽毛製品には、就寝時の寝室の室温に咲いて最適な不毛掛けふとんの保温性能値を提案するシステム「コンフォートインデックス」が採用されている。これは、財団法人科学技術振興会の協力を得て、輸入総代理店「ホップライオンジャパン」が供給する。

㊨マイケル・デ・ラ・プレイス会長
㊧稲木貢支部長

■倒産　㈲マルサン工芸（福岡県大川市向島1048−1　石橋修一社長）は5月5日までに、事業を停止し、自己破産を申請している。事後処理は日野佳弘（久留米市城南町22−21）に一任した。負債は約2億円。

同社は、1969年5月創業し、1989年に法人に改組した。マンション業者設計事務所、家具店などを販路とし、テレビボード、パソコンデスクなど製造、販売。2001年9月期は7億3,500万円の年商を上げていた。マンション建設に冷え込みや急速な景気後退で受注が落ち込み、事業を断念した。

九十代の年輪語録 ㊷
柏木工会長 関 道介氏

見せてくれた。共産軍総司令部の陳平の停戦協定への信義といい、かっての敵から教わることがあまりも強く私の心をうった。人間は信義を重んずべし。果たして今の社会にどれだけ通用しているものであろうか」

ここまで生も死もから引用してきて、思わず涙腺が緩んだ。『かっての敵から教わることがあまりにも強く私の心をうった』―戦火を交えた戦場での交流、